



創立記念日に寄せて

学校長 有村 恵

早いもので、令和3年度の1学期も残すところあと3週間余りとなりました。いよいよ今週の木曜日から7月です。各学級では、1学期のまとめにとりかかる時期です。

さて、7月13日（火）は吉田小学校開校記念日となっています。

- 一、人間（ひと）は善（よ）さを求める
一、人（ひと）は練磨（れんま）によりて仁（ひと）となる

これは、吉田小の起源となった「復生館」の建学の精神です。「復生館」は、元治元年（1864年）、この吉田郷に設立されました。薩英戦争の翌年、明治維新を迎える少し前のことです。川内（かわうち）彦左衛門らを教師として、漢・書・算及び剣道の四教科を置き、五十余名の子弟が学んでいたそうです。吉田の人々が志高く、昔から学問を大切に思い、心と身体・頭を鍛えようと励んできたことが分かります。

また、大正時代には、教育に多大な予算をかけて指導者を集めた結果、吉田小は「模範学校」と呼ばれて各所から教育の場を参観に来る人が後を絶たなかったそうです。特に、当時は「理科・体育・しつけ教育」に力を入れて、子供達の輝く未来を拓くための教育を推進していたとのことです。

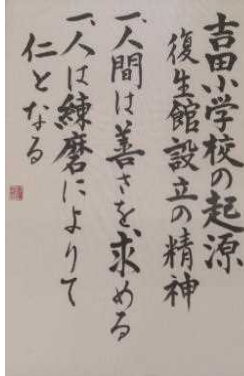
さらに、昭和8年には「東西佐多浦奨学会」が発足し吉田の子供達に素晴らしい教育が提供できるよう物心両面から、同奨学会が学校を支えてくださいました。

このように、吉田という地域は長年にわたり、教育振興・人材育成に尽力してきた地域です。そしてその間、県内外のあらゆる方面で「世のため、人のために」活躍しておられる多くの卒業生を輩出したことは、地域や学校の誇りといえます。

『吉田のかかるた巻頭言参照』

時は流れ、令和の世ですが、創立146年を迎えた今も、復生館の建学の精神は本校の教育の中に受け継がれ、学校経営の基本方針にも、

- ① 学校、家庭、地域が一体となり、地域に根ざした教育を推進する。吉田小学校の起源、復生館設立の精神「人間は善さを求める人は練磨によりて仁となる」を継承した子供の育成に努める。
- ② 基礎的・基本的な知識や技能を大切にし、多様な学びを可能とする教育内容や指導体制を確立するとともに、お互いのよさを認め合うような学びの場づくりを通して子供一人一人の力を伸ばす。
- ③ 知・徳・体のバランスある力とともに、子供たちに忍耐力や社会の一員として生きていくための規律・規範を身に付けさせ、前向きで思いやりのある自己肯定感の高い子供を育成する。



と位置付けられております。

今後も、本校の子供達が学びを深め、互いに友とのふれあいを通し切磋琢磨しながら益々伸びていくように、学校・家庭・地域が相互に連携を深めながら吉田の子のために力を尽くしていきましょう。

